

2019 年度 果樹施肥基準

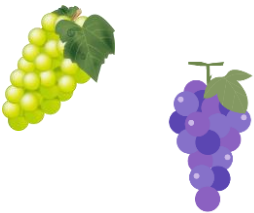
2019 年 6 月

J A 中野市営農センター

ぶどう

土壌分析を活用した樹勢管理・栽培を目指そう！

- (種なし) 基肥を基本とし樹勢が弱い場合追肥を実施してもよい。
- (有核) 樹勢が強く結実不良園は元肥を減らし、樹勢を見ながら追肥で調節する。
- (共通) 基肥施用時期：ハウスは 9 月上中旬、露地は収穫後半 10 月上中旬頃までに施用する。
- (共通) 有機物を積極的に投入し土壌改善に努める。堆肥等は 1 ～ 2 t を目安に投入する。



1. シャインマスカット・種なしぶどう

@15,737 円／10a

露地巨峰		9 ～ 10 月			樹勢が弱い場合		成分量 ※ () 内は最大値		
					発芽期	満開期			
肥 料 名		マイティー 黒ぐろ	アヅミン 苦土石灰 (粒)	ニューエコマグ または マグゴールド	追肥グリーン 2 号		N	P	K
肥沃地	火山灰土壌	2 袋	4 袋	1 袋	0.5 ～ 1 袋	0.5 ～ 1 袋	2.4 (～ 14.0)	1.6 (～ 2.8)	0.8
	粘質土壌	3 袋					3.6 (～ 15.2)	2.4 (～ 3.6)	1.2
やせ地	砂質・礫質土壌	4 袋					4.8 (～ 16.4)	3.2 (～ 4.4)	1.6

2. ハウス巨峰 (有核)

@23,760 円／10a

ハウス巨峰		9 月			満開後～落花期		トビ玉発生期	成分量		
肥 料 名		マイティー 黒ぐろ	アヅミン 苦土石灰 (粒)	ニューエコマグ 又は マグゴールド	追肥グリーン 2 号	プレシャス有機 K または ジャンプ有機 7 号	プレシャス有機 K または ジャンプ有機 7 号	N	P	K
肥沃地	火山灰土壌	3 袋	4 袋	1 袋	1 袋	—	1 袋	10.6	3.6	1.6
	粘質土壌	4 袋						11.8	4.4	2.0
やせ地	砂質・礫質土壌	5 袋	4 袋	1 袋	1 袋	2 袋	1 袋	15.4	6.4	2.8

3. 露地巨峰 (有核)

@23,568 円／10a

露地巨峰		10 月			3 月	満開期	トビ玉発生期	成分量		
肥 料 名		マイティー 黒ぐろ	アヅミン 苦土石灰 (粒)	ニューエコマグ 又は マグゴールド	腐植リン	追肥グリーン 2 号	プレシャス有機 K または ジャンプ有機 7 号	N	P	K
肥沃地	火山灰土壌	2 袋	4 袋	1 袋	2 袋	0.5 袋	1 袋	6.5	2.5	1.2
	粘質土壌	3 袋		1 袋	1 袋	1 袋		10.6	3.6	1.6
やせ地	砂質・礫質土壌	4 袋	4 袋	1 袋	—	1 袋	1 袋	11.8	4.4	2.0

【参考】好適樹相の目安 (露地有核栽培の基準は、第 2 新梢長で開花直前が 40 ～ 50cm、着色期で 60 ～ 120cm が目安)
(露地・種なし栽培の基準は、第 2 新梢長で開花直前が 80 cm 程度、着色期で 150 cm が目安)

4. 【主な肥料の成分表】

肥 料 名	成 分 量			そ の 他 の 成 分
	チッソ	リン酸	カリ	
マイティー黒ぐろ	6.0	4.0	2.0	有機 57%、く溶性苦土 5.5%、マンガン 0.4%、ほう素 0.1%
追肥グリーン 2 号	29.0	3.0		速効性追肥肥料
プレシャス有機 K	6.0	3.0	1.0	動植物有機原料、肥料を混合した醗酵熟成有機質肥料。
ジャンプ有機 7 号	7.0	4.0	2.0	動物質の水溶性アミノ酸を含有し、有機 100% の速効性肥料
アミノシャープ 085	10.0	8.0	5.0	魚由来のアミノ酸、苦土、有機態窒素 50% 含有。
ノルチッソ	14.0			硝酸態窒素と水溶性カルシウムが主成分、カルシウム 23%、マグネシウム・ほう素・マンガンも少量含む。
硫 安	21.0			速効性追肥肥料
腐 植 リ ン		15.0		く溶性・水溶性リン酸、マグネシウム 8%、腐植酸 35%
硫酸マグネシウム				マグネシウム 25%、水溶性の速効性肥料、pH 6 以上で効果が高い。
ニューエコマグ				マグネシウム 53%、遅効性、pH 6 以下の土壌で元肥として使用する。
アヅミン苦土石灰				アヅミン 10%、マグネシウム 10%、アルカリ分 50%、ほう素・モリブデン・亜鉛も含む。
ア ヅ ミ ン				腐植酸約 50%、マグネシウム 3%
フ シ ョ ペ レ				保肥力、通気性、透水性の改善、腐食酸 48.7%

5. 共通事項

- 元肥は、ハウスは 9 月までに、露地は 10 月までに施用する。(落葉前)
- アヅミン苦土石灰は土壌の酸度矯正に合せ元肥として施用する。(アヅミンの働きにより石灰やマグネシウムを下層まで分散・浸透させる)
- ほう素欠乏園は、ほう砂を 10a 当り 2 ～ 4kg を元肥で施用する (3 ～ 4 年)。また、開花前にマルポロンを葉面散布する。
- ノルチッソを追肥用として樹勢に応じて施用しても良い(かん水後に施用)。粒肥大向上と脱粒防止に効果あり。
- 有機物の投入できない場合はアヅミンまたはフショペレを 3 ～ 5 袋投入する。

6. 特記事項

- 土壌がアルカリ性の場合 (pH6.0 以上) はニューエコマグに代えて、硫酸マグネシウムを 1 袋施用する。(露地は 3 月・ハウスは被覆直後)
- トビ玉発生期に葉色が薄くなる園は、プレシャス有機又はアミノシャープ 085 を 1 袋追肥する。※裂果が心配される時期・園は施用しない。
- 樹勢が弱い場合 (弱～中庸) は鮮度維持・脱粒防止のため、ハウスは収穫開始期・露地は 8 月末～9 月上旬に硫安を 10 a 当り 20kg 施用する。
土壌がアルカリ性の場合 (pH6.0 以上) はニューエコマグに代えて、硫酸マグネシウムを 1 袋施用する。(露地は 3 月・ハウスは被覆直後)



りんご

要素標記：N（窒素）、P（リン酸）、K（カリ）、Mg（苦土）、Mn（マンガン）、B（ほう素）

1. 基本体系：健全樹・10年生樹以降等

@16,887 円/10a

肥料名	収穫終了後 又は翌春	成分量 (kg/10a)					
		N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ	3 袋	7.2	3.6	1.2	3.0	0.2	0.1
種 粕	3 袋	3.0	1.2	0.6	—	—	—
天 然 ボ カ シ 肥	3 袋	1.3	2.2	1.3	—	—	—
サンライム（粉）	3 袋	—	—	—	1.8	—	—
合 計	12	11.5	7.0	3.1	4.8	0.2	0.1

- ◆ 天然ボカシ肥に代えて、発酵ケイフン4袋(75kg)でもよい。

2. 強化体系：弱樹勢・やせ地・老木樹等

@15,678 円/10a

肥料名	収穫終了後 又は翌春	成分量 (kg/10a)					
		N	P	K	Mg	Mn	B
りんご専用(果樹1号)	3 袋	9.6	3.6	4.8	—	—	—
種 粕	3 袋	3.0	1.2	0.6	—	—	—
天 然 ボ カ シ 肥	3 袋	1.3	2.2	1.3	—	—	—
アヅミン苦土石灰（粒）	3 袋	—	—	—	6.0	—	—
合 計	12	13.9	7.0	6.7	6.0	0.0	0.0

- ◆ りんご専用は在庫終了後、同成分資材「果樹1号」に随時変更販売になります。

3. 有機100%体系（新規）

@14,901 円/10a

肥料名	収穫終了後 又は翌春	成分量 (kg/10a)					
		N	P	K	Mg	Mn	B
エアーポイント	20 袋	—	—	—	—	—	—
種 粕	3 袋	3.0	1.2	0.6	—	—	—
サンライム（粉）	3 袋	—	—	—	1.8	—	—
合 計	26	3.0	1.2	0.6	1.8	0.0	0.0

- ◆ エアーポイントに代えて、天然ボカシ肥5袋でもよい。また、種粕に代えて発酵ケイフン7袋でもよい。

◆ 注意事項

- ① 施肥体系の選択：樹勢・土壌質等により異なります。詳細は担当までお問い合わせください。
- ② 施肥時期：ふじ等収穫終了後（11月下旬～12月上旬頃）または翌春（3月中旬～4月上旬頃）
- ③ 施肥量：5年生基準の30%、7年生60%、10年生以降は100% ＊樹勢に応じて加減する。
- ④ pH：6.0～6.5を保つ ＊pHの状況により石灰類の施用量を加減する
- ⑤ 追肥：結実確定後（5月下旬頃）に追肥グリーン2号を1袋/10a程度する。
- ⑥ 苦土欠乏対策：土壌分析に基づいて、硫マグ（アルカリ土壌）又はニューエコマグ、マグゴールド（酸性土壌）を施用する
- ⑦ ほう素欠乏対策：土壌分析に基づいて、ほう砂を適量施用する。
- ⑧ 葉面散布：苦土・マンガン・ほう素成分入り資材を生育期に散布する。
- ⑨ 土壌改良指針に基づき有機物の投入を行う。尚、有機物の投入ができない場合は、アヅミン又はフショペレを3～5袋投入する。
- ⑩ カリ過剰対策：土壌分析に基づいて、ニチミネ5号を収穫後に10a当たり3～5袋投入する。（土壌中のカリの吸着、PH矯正）

施用量の目安

肥沃地 50～60%
中庸地 100%
やせ地 120～130%

◆ ニュー果じゅっこ

＊成分：N-12・P-6・K-2・Mg-5・Mn-0.4・B-0.2
＊有機50%を含有しているJA中野市オリジナル有機質肥料。

◆ りんご専用（果樹1号）

＊成分：N-16・P-6・K-8
＊有機物とあわせて施用する。

◆ 天然ボカシ肥

＊成分：N-3・P-5・K-3
＊原料は数種類の動植物有機100%（魚カス・米ぬか・ケイフン・卵殻・海草など）で構成されており、それを十分発酵（ぼかし）し、ペレットした。
＊有機質肥料特有の微量元素を豊富に含有している。
＊肥効は速効的な面と緩効的な面の両方を有し、持続性がある。

◆ サンライム

＊原料はカキ殻100%で天然有機石灰
＊カルシウムの他に生育に必要な微量元素（苦土・マンガン・鉄・ほう素など）を含む。

◆ アヅミン苦土石灰

＊成分アルカリ分50、苦土10、アヅミン10
＊アヅミンの効果により下層への浸透力が強い。
＊石灰類についてはアヅミン苦土石灰に代えてタイニー（炭酸苦土石灰）でもよい。

◆ エアーポイント

＊主原料であるコーンコブ使用済培地に微生物資材（中温菌・高温菌ほか数十種類）をバランス良く配合させた良質堆肥。
＊土壌が膨軟になり、根の張り・保肥力の向上、連作障害の改善などの効果が期待できる土壌にやさしい有機物。

◆ 追肥グリーン2号

＊成分 N29、P3
アンモニア態窒素14.9%・硝酸態窒素14.1%
＊肥効が早い硝酸態窒素を多く含むため、追肥に有効。

核果類（もも・ネクタリン・プラム・プルーン・サクランボ）



◎土壌別の施用量の目安：肥沃地基準量の 50～60％、中庸土壌 100％、やせ地 120％

◎樹齢により施肥量を加減する。3 年生は基準量の 30％、4 年生は 50％、5 年生は 80％、8 年生以降は 100％を目安とする。

◆基本体系

@18,373 円／10a

肥料名	施用時期及び施用量		成 分 (kg/10a)					
	収穫終了後	9 月～10 月	N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ		4 袋 (80kg)	9.6	4.8	1.6	4.0	0.3	0.1
天 然 ボ カ シ 肥	5 袋 (75kg)		2.2	3.7	2.2			
サンライム（粉）		3 袋 (60kg)				1.8		
合 計			11.8	8.5	3.8	5.8	0.3	0.1

- ◆ 中野果樹有機 50「ニュー果じゅっこ」
 - ◆ 成分 N-12、P-6、K-2、苦土-5、マンガン-0.4、ほう素-0.2、有機 50％
- ◆ 天然ボカシ肥
 - *原料は数種類の動植物有機 100％(魚カス・米ぬか・ケイブン・卵殻・海草など)で構成されており、それを十分発酵(ぼかし)し、ペレット状にした。
 - *有機質肥料特有の微量元素を豊富に含有している。
 - *肥効は速効的な面と緩効的な面の両方を有し、持続性がある。

*天然ボカシ肥に代えて、発酵ケイブン 7 袋(105kg)を使用してもよい。

◆有機強化体系

@21,043 円／10a

肥料名	施用時期及び施用量		成 分 (kg/10a)			
	収穫終了後	9 月～10 月	N	P	K	Mg
J A 中野市 も も 有 機 7 0		5 袋 (100kg)	10.0	5.0	4.0	
天 然 ボ カ シ 肥	5 袋 (75kg)		2.2	3.7	2.2	
サンライム（粉）		3 袋 (60kg)				1.8
合 計			12.2	8.7	6.2	1.8

- J A 中野市 もも有機 70
 - ◆成分(N-10％・P-5％・K-4％) 有機 70％
 - ◆カリ過剰傾向に対しカリ成分を下げた肥料。有機成分を 70％とし大幅に有機率を高めた。
- サンライム
 - ◆原料はカキ殻 100％で天然有機石灰
 - ◆カルシウムの他に生育に必要な微量元素(苦土、マンガン、鉄、ほう素など)を含む。一般肥料と同時に施用できる。

*もも有機 70 に代えて、アミノシャープ 085(有機 60％、N-10％、P-8％、K-5％、Mg-2％)を使用してもよい。

■ 微量元素施用・追肥等（10 a 当り施用量）

- ① マンガン欠乏の発生が見られる園は、硫酸マンガン 1 袋を施用する。
- ② 苦土欠乏の発生が見られる園は、硫マグ（アルカリ土壌）又はニューエコマグ、マグゴールド（酸性土壌）を 2～3 袋施用する。
- ③ ほう素欠乏の発生しやすい園は、ほう砂を 2kg 施用する。（3～4 年に 1 回）
- ④ 有機物の不足する園では、アヅミン又はフショペレを 3～4 袋、10 月に施用する。
- ⑤ 樹勢が弱い場合
 - ⇒ 結実確定後（5 月中下旬頃）、追肥グリーン 2 号を 1 袋施用する。
 - ⇒ 収穫終了後、天然ボカシ肥・発酵ケイフンのほかにプレシャス有機 K を 1～2 袋施用する。

【追肥グリーン 2 号】

- ◆成分(N-29％・P-3％)
- *窒素全量 29％の内、
 - アンモニア態窒素 14.9％
 - 硝酸態窒素 14.1％
- *肥効が早い硝酸態窒素を多く含むため、特に追肥に有効。

■ 注意事項

- ① 根は過湿に弱いので、土壌改良し通気性を良くする。（水田転作等）
- ② pH 矯正を行ない、もも類・サクランボは pH 5.5～6.0、プラム・プルーンは pH 5.5～6.5 に保つ。
- ③ 樹勢が強い場合、40～50％減肥する。（強樹勢＝7 月に入っても新梢が止まらない園）
- ④ 有機質資材の投入：イナワラ・ケイントップ・・・6 月上旬に、土壌の乾燥防止と疫病対策を兼ね、10 アール当たり 300～400kg 投入する。

梨類

@20,763 円／10a

肥料名	施用時期及び 施用量(袋)	成分量 (kg／10 a)					
	収穫終了後	N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ	5 袋 (100 kg)	12.0	6.0	1.2	3.0	0.2	0.1
天然ボカシ肥	5 袋 (75 kg)	2.2	3.7	2.2			
サンライム (粉)	3 袋 (60 kg)				1.8		
合 計		14.2	9.7	3.4	4.8	0.2	0.1



① pH：6.0～6.5 を保つ。
追肥：結実後（5 月中下旬頃）に追肥グリーン 2 号を 1 袋程度施用する

柿

キウイフルーツ

@20,763 円／10a

肥料名	施用時期及び 施用量(袋)	成分量 (kg／10 a)					
	落葉後	N	P	K	Mg	Mn	B
ニュー果じゅっこ	5 袋 (100 kg)	12.0	6.0	1.2	3.0	0.2	0.1
天然ボカシ肥	5 袋 (75 kg)	2.2	3.7	2.2			
サンライム (粉)	3 袋 (60 kg)				1.8		
合 計		14.2	9.7	3.4	4.8	0.2	0.1



① 柿 pH：6.0～6.8 の微酸性を保つ。 ＊アルカリ土壌では生育が抑制される。
② キウイ pH：5.5～6.5 の微酸性を保つ。
③ 追肥：結実後等に追肥グリーン 2 号を 1 袋程度施用する。

◆ 主な葉面散布資材名 使用時期：生育期～収穫直前まで 農薬混用：可

商品名	保証成分量	使用目的	倍率	規格
オルガミン DA	TN:0.11% Mg:4% B:0.7% K:0.11% Mn:0.25%	肥大向上・食味向上	1000	1 L・5 L
グリーンデイズ	Mg16% Mn9.0% B2.5%	苦土・マンガン・ほう素補給	1000	1 kg
ビックマグ	Mg23%	苦土補給	1000	1 kg
液体硫酸マンガン	Mn13.5%	マンガン補給	200	1 kg

良品質生産のための葉面散布剤使用例（果樹共通）【葉面散布は目的をもって行う】

散布時期	商品名	対象品目	使用目的
4 月中～6 月中まで	グリーンデイズ	果樹全般	葉の健全化（微量要素の補給）
生育初期～収穫まで	オルガミン DA	果樹全般	樹の健全化・品質向上

※昨年（近年）発生した障害や本年の樹勢・葉色などをよく確認し目的をもって葉面散布を行う。
① 初期生育の改善により収穫時の品質の向上が見込めるため、生育初期（発芽以降）から使用する。
② 1 度の散布では効果が出ない場合があるため、継続した散布を行う。
③ 葉面散布剤は使用時期・回数などにより生育阻害や過剰障害が発生する場合がある。使用の際は担当技術員に相談する。
④ 葉面散布は補完的な位置づけとし、元肥等で土壌環境の改善を行うことを基本とする。